



トップ 会社概要 企業理念 販売店 人気記事 イベント 関連企業 奄美の名店 郷友会 今日の記事

2014.07.14

カテゴリ：東京通信

## 東京配田ヶ丘同窓会総会



懇親会は、会員が登壇して「故郷の話をしよう」の歌で幕開け。語りつくせぬ楽しいひと時を過ごした東京配田ヶ丘同窓会

### 学友と心一つに

#### 若い世代加わり世代間交流も広がる

【東京】「絆を大切に 親睦の輪を広げよう」——奄美高校とその前身の大島実業高校、旧奄美高等女学校、旧大島農業高校、旧名瀬高校の卒業生で組織する、東京配田ヶ丘同窓会（小勝竹雄会長）の総会・懇親会が13日、ホテルグランドヒル市ヶ谷（新宿区市谷本村町4）で開かれた。会員の呼びかけに応えた若い世代や、初めて参加した卒業生などが新たに加わり、会場は華やいだ雰囲気。島唄や黒糖焼酎に思い出を重ねながら、友との再会を楽しんだ。

今回で14回目となる同会は、約120人が参加。県立大島実業高校、奄美高校の卒業生がそれぞれの校歌を斉唱すると、世代を超えて学生時代へと心は一つに結ばれた。

続いてあいさつに立った小勝会長は、大島高校の春の選抜高校野球大会出場時には、関東から駆けつけた各郷友会、同窓会の応援団が甲子園のスタンドで一つになったことや、関西では喜界、与論、沖永良部の同窓会などが交流を深めていることに触れ「東京の各同窓会の輪を広げて、交流を深めていきたい」と呼びかけた。また、大高の活躍に刺激された母校奄美高校野球部も春の県大会でベスト8となったことを讃え「勉学・スポーツに頑張る母校の後輩の応援支援を続けていきたい」とサポートを約束。次回は15回目の記念総会になることから、「一人ひとりが誘い合って賑やかな記念総会ができればと思う」とし、会員らに今後さらなる協力支援を呼びかけた。

来賓として藤井壮望東京奄美会幹事長、元忠好関西配田ヶ丘会会長、池田秀秋関東安陵会会長がそれぞれ祝辞。先日の台風被害に「一日も早い復旧復興を」と願う言葉や、現在行われている高校野球県大会で大島高校、奄美高校が勝ち進んでいることに「このま

ま行けば決勝で戦うことになるのでは。大高と奄高は兄弟校。一緒に応援していきたい」などの言葉が聞かれ、故郷を応援団していくことを確認した。

テーブルの各席には、島から参加した名瀬市在住の小田初男さんから、「島の味をみなさんに味わってほしい」と用意したパッションフルーツが置かれ、思いがけないうれしい土産に参加者からは拍手が送られた。

第2部の懇親会では、折原誠司さんの島唄に心なませ、会員の三谷ユミ子さん、南進さんが「久しぶりの再会」と題して行った即興の島口漫談で会場は爆笑の渦に。5月に渋谷・鹿児島おはら祭りに、同会が参加したこともあり、渋谷音頭や鹿児島おはら節で盛り上げる一幕も。初参加の人の紹介や、テーブルごとの学年の紹介などで世代間交流も賑やかに行われ、締めくくりはいつもの六調。慣れ親しんだリズムで、島ならではの空気感を心行くまで楽しんだ。

  いいね!  1

[← 前の記事](#)

[次の記事 →](#)

## コメント

タイトル:

お名前:

認証コード **3368**

コメント:

コメントは管理者の承認後に表示されます。

[↑ページのトップへ / トップ](#)

Copyright © 2014 奄美新聞社 All Rights Reserved.  
鹿児島県奄美市名瀬港町16番11号, 0997-53-6333

powered by [Quick Homepage Maker 4.91](#)  
based on [PukiWiki 1.4.7](#) License is GPL. QHM

